

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	大丸ゆうし保育園
活動日時	2024年10月2日(水)
クラス名(年齢)	ぶどう組(5歳児)
年間テーマ	自然

1. 活動のテーマ

<テーマ>

お米づくり②

<テーマの設定理由(子どもの姿)>

- ・暑い時期はなかなか田んぼの様子を見にいけなかったが、園庭で作っていたお米が良い具合に稲穂が垂れてきた。テレビで「しんまい」という言葉を聞いた子もあり、お米を収穫しに行くことにした。

2. 活動スケジュール

- ・田んぼに行き、春に植えたお米の稲刈りをする。大人が刈って束ねる様子を見学し、稲を干すところまで子ども達が運んでいく。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境設定

- ・鎌
- ・稲を束ねる紐
- ・虫かご

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・田んぼで行う。
- ・大人が稲を刈って束ねていき、子ども達が干場まで運んでいく。
- ・予想より早く終わったので、カエルやイナゴなど生き物探しをする子や稲が落ちていないか田んぼの中を探検する子の姿も見られた。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

子どもの言葉・姿	写真
<ul style="list-style-type: none"> • 田んぼが見えてくると成長した稲を見て、「大きくなってよ」「黄色いね」と興奮気味に話していた。 • 田んぼに降り稲の横に立って、「僕より大きいよ」「肩くらいまであるよ」と稲と背比べしていた。 • 刈った稲穂を見て、「ここにお米が入っているんだ」「ぷっくりしてるよ」と発見していた。 	

5. 振り返り <振り返りによって得た保育者の気づき>

田植えをしてから散歩で前を通りかかった時などに、稲の成長を気にかけて見ていたが、しばらく行っていなかったので稲の急成長に子ども達も驚いていた。稲刈りを大人がしていると真剣な表情で観察し、「やってみたい」という声も上がったので、次年度は子ども達ができるように準備していきたいと思う。実際にお米の成り立ちを目の当たりにして「お米ってあんな風にできているんだね」と食事の時間に話している姿も見られた。食への関心が深まっているので、今後お米以外にも様々な食材の成り立ちを観察していけたらと思う。